

姫路医療生協現勢  
(2018年12月31日現在)

●組合員 20,687人

●出資金 449,241千円

●1人平均出資金額 21,716円

〒670-0832 姫路市双葉町10番地 ☎079-285-3398  
E-mail info@himeji-mcoop.or.jp



▲石門の奥に野見宿禰が祀られた祠があります

に生きた人を古墳へ埋めること)を禁じていた垂仁大王に、代わりに埴輪を作り埋めることを考案します。喜んだ垂仁大王はその功績を讃え、野見宿禰を土師職(II古墳に立てる埴輪や土器をつくる職)に任命します。土師職に任命された野見宿禰は

(取材あぼし診療所森山昌光

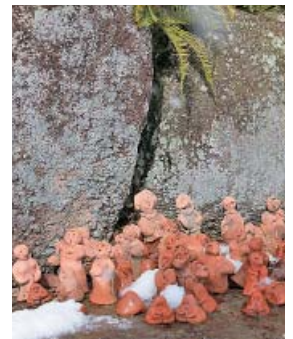
(たつの市／龍野神社山側)

## 野見宿禰神社



▲頂上までは長い階段が続きます

野見宿禰は、垂仁大王の太后(大后)Ⅱ当時の皇后の呼称)が亡くなった際、当時の風習であった殉死(故人と共に生きた人を古墳へ埋めること)を禁じていた垂仁大王に、代わりに埴輪を作り埋めることを考案します。喜んだ垂仁大王はその功績を讃え、野見宿禰を土師職(II古墳に立てる埴輪や土器をつくる職)に任命します。土師職に任命された野見宿禰は



▲奉納された小さな埴輪

野見宿禰は、大和の国から故郷の出雲国へ帰る途中、現在のたつの市で病死したと言われています。野見宿禰の死を悲しみ、出雲国から多くの人がやってきて、川から石を運び、墓を作りました。その様子が野に人が立ち並んだようであったことから「野に立つ人」「立野」と言われるようになり、いつしか「龍野」になったと言われています。神社の石垣には、子ども達が作ったとみられる埴輪が置かれ、今も、野見宿禰の功績を讃えています。



▲力士が奉納した玉垣



# 今、改めて福島の声聞く

3月15日(金)、イーグレひめじ3階 あいめつせホールにて、姫路医療生活協同組合・平和委員会主催の学習講演会を開催します。

今回は、「福島を忘れない」〜福島の現況から学ぶ原発・憲法・沖縄〜と題して、福島県の現況や復興の状況などについて、福島県にあるきり健康生活協同組合 前理事長の川添隆司氏にご講演

いただきます。

川添氏は、現在も同生協の須川診療所で内科医師として勤務を続ける傍ら、「原発は「原」が怖い」という強い思いを胸に、原発・憲法・沖縄をテーマに、福島県内および全国の医療生活協で講演活動をされています。講演活動を通じて「原発は怖い」と感じていただきたいと思います」と川添氏はお

っしゃいます。

今の時代を生きる私たちは、今回、福島の現況を学ぶことで、東日本大震災と、福島第一原発事故という歴史的な大事故を、これからの未来を生きる人達へと語り継いでいく必要があるのではないのでしょうか。

どなたでも参加いただけます。ぜひお越しください。

姫路医療生活協同組合  
学習講演会「福島を忘れない」  
〜福島の現況から学ぶ原発・憲法・沖縄〜  
東日本大震災から8年が経過します。  
今、改めて福島や原発等の現況について、ともに考えてみませんか？

講師：川添隆司氏  
きり健康生活協同組合(福島県) 前理事長・医師

【川添隆司氏 プロフィール】  
1984年神戸大学医学部卒  
日本医師会認定産業医  
プライマリ・ケア連合学会 認定指導医  
専門は呼吸器科、現在は、きり健康生活協同組合 須川診療所で内科を担当。2015年より福島県内で「原発・憲法・沖縄」をテーマにした講演活動を開始。翌年より全国へ向けた講演活動を実施されています。

未曾有の被害をもたらした東京電力福島第一原発事故からもうすぐ8年。その時代を生きた私達は、未来の人類への使命としてこの大事故を語り継がなければなりません。「原発は怖い」とみんなが思える日まで。

入場無料  
どなたでもご参加下さい  
先着280席  
お申し込みは下記まで

日時：2019年3月15日(金)  
時間：14時～16時  
会場：イーグレひめじ3F あいめつせホール(姫路市本町68)  
主催：姫路医療生活協同組合 <らし> 平和委員会

参加申し込み・お問い合わせ  
姫路医療生活協同組合 組合員サービス部  
TEL 079-285-3399  
FAX 079-285-3406

# これからの地域福祉を考える

## 姫路市生活支援体制検討会議

12月17日(月)、姫路市役所10階大会議室において、姫路市生活支援体制検討会議(以下、検討会議)が開かれました。

検討会議は、「地域包括ケアシステム」の「介護予防・生活支援」の体制整備のために、地域関係者が定期的な情報共有と連携強化をはかる場で姫路医療生活協も参加しています。

通常、検討会議は、姫路市連合自治会や民生・児童委員連合会、姫路市社会福祉協議会等の委員のみで開催されますが、今回はアドバイザーとして、地域福祉に詳しい大阪府立大学 人間社会システム科学研究科教授の小野達也氏と姫路市社会福祉協議会、各地域包括支援センター、各保健センター・分室が



大阪府立大学 人間社会システム科学研究科教授の小野達也氏と姫路市社会福祉協議会、各地域包括支援センター、各保健センター・分室が

加わり開催されました。

前半は、地域における状況、進め方について、5つの地区が報告を行いました。そのうちの二つに、当生協が運営する増位・広嶺地域包括支援センター管理者の畠田氏が報告を行いました。

### 福祉は幸せを作る

後半は、小野氏による「生活支援と増進型地域福祉」と題した講演がありました。

小野氏は、福祉を受けることに抵抗感を持つ方が、未だに多い現状を捉え、これから



大阪府立大学教授 小野達也氏

# 虹のバレンタイン行動にご協力下さい

今月折込みしています



9条署名ハガキ

姫路医療生活協では、今年も虹のバレンタイン行動を実施します。この運動は、日本医療福祉生活協同組合連合会や全国の医療生活協がバレンタインデーに合わせて、安心して暮らし続けられるまちづくりを呼びかける取り組みです。

当生協では今年も『安倍9条改憲NOー憲法を生かす全国統一署名』にとりくみます。今月号の「ひめじ」に署名ハガキを折込みしています(切手は不要です)。

日本を戦争ができる国にさせない、子や孫に平和な世界を継いでいきたいという考えにご賛同いただける皆さまは、ご署名の上返信

をお願い申し上げます。

また、虹のバレンタイン駅前宣伝行動を実施します。当日は、チョコレートやバレンタインカードとともに、9条署名ハガキの配布や署名行動を実施します。どなたでもご参加いただけます。一人でも多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

### 虹のバレンタイン駅前宣伝

2月5日(火)  
14:00~15:00  
場所：山電姫路駅前広場  
(雨天時：JR姫路駅ビオシ前)

2月6日(水)  
15:45~16:45  
場所：JR網干駅前  
(雨天決行)



発言する黒岩専務理事

の地域福祉で大切なことは、「福祉」に対するマイナスイメージを払拭することだと語りました。

これからの地域福祉は、問題解決から目的実現型へ考え方の転換が必要で、地域の課題を出し合い共有し、理想の状態(こつなつたらいいな)を共に描き、地域の協働の実践によって実現していく「増進型地域福祉」であると説明。その結果、一人ひとりの幸せと地域の幸せを共に生み出す地域福祉が実現できると語られました。

### 地域の住民が主役

最後に、委員の方が意見を述べられました。姫路医療生活協の黒岩専務理事は、当生協の地域活動は『楽しく・おいしく・オシャレに』をキャッチコピーとしていること、認知症カフェや3月に行われた

野里大日町自治会主催の認知症見守り声かけ訓練のとりくみを紹介しました。「地域住民が主役の活動を広げることが地域づくりにつながる。地域の担い手になる人の力をどう引き出すか専門職に求められている」と話しました。

今回の検討会議で出されたとりくみ報告や講演が生かされ、今後、姫路市の課題、仕組みづくりが検討されることと思ひます。

あぼしブロック新春のつどいが、1月12日(土)、姫路市立図書館 網干分館大ホールで行われ、組合員・職員・地域の方合わせて208名が参加しました。

第一部は「振り込み詐欺にご用心」のテーマで、落語家の笑福亭智之介さんにご講演いただきました。落語を交え



▲会場は笑いの渦に

ながら最近の振り込み詐欺の手口を紹介。軽快なお話に会場は笑いに包まれました。

詐欺の被害は年々増加し、手口も非常に巧妙になっていきます。高齢の女性が一番被害に遭う確率が高く注意が必要だそうです。また、私は大丈夫と思っている人ほど実は危険だそうです。

智之介さんは、「変な電話がかかってきたら慌てず、まず落ち着くことが詐欺に騙されない重要なポイントです」と強調されました。



▲講演する笑福亭智之介氏

また、智之介さんはマジシャンとしても活躍中で、カードマジックなどを披露し会場を沸かせました。

第二部は『スウィングフェローズ』によるジャズライブでした。「上を向いて歩こう」、「いい日旅立ち」など懐かしい歌を演奏。ピアノ、ベースなどから流れる音色に会場はうっとり。会場からは自然と拍手が聞こえ、最後はアンコールのかけ声ののって演奏された曲「高原列車は行く」を全員で合唱し盛り上がりは最高潮に。楽しい新春のつどいとなりました。

あぼしブロック長 福居 良介



▲スウィングフェローズの皆さん

## くらしの困りごとを支える 支援の輪をひろげよう

～12.8くらしの助け合いの会「はなちゃん」支援者交流会～



▲あいさつする松井代表

「はなちゃん」では、支援者を随時募集しています。

活動への活力となり、地域を越えた繋がりが、今後の活動へもつながります。

「美味しいうちが食べて、より一層がんばらないといけない」との声もあり、地域を越えた繋がりが、今後の活動へもつながります。

12月8日(土)くらしの助け合いの会「はなちゃん」支援者交流会を中華料理店紅寶石で行いました。

16支部から49名の支援者が集まり、日々の活動への労いとこれからの活動に乾杯しました。

各テーブルで自己紹介を行い、普段の活動で感じたことや悩みを共有しました。

支援を始めて間もない支援者の方も積極的に話に参加され、交流を深めました。

参加者からは、「久しぶりに会えた人もいて嬉しかった」「美味しい料理を食べ、より一層がんばらないといけない」との声もあり、地域を越えた繋がりが、今後の活動へもつながります。



▲初顔合わせの人ともつながりが出来て...

**健康野菜 ひまわり市**

2月5日(火)  
12日(火)  
19日(火)  
26日(火)

8:00 ~ 10:00  
共立病院正面玄関

**無料法律なんでも相談**

毎月第3木曜日

2月21日(木)  
3月28日(木)  
※3月は祝日のため第4木曜日  
4月18日(木)

時間 PM2:00~4:00  
場所 共立病院相談室(共立病院の薬局前)  
協力 姫路総合法律事務所(弁護士)

※要予約 相談希望の方は、下記へお申し込みください  
姫路医療生協本部 ☎(079)285-3398

### 私のおすすりめ料理

## お米ピザ

東第1支部 黒田美知子さん

材料(2~3人分)  
ごはん 茶碗2杯分  
卵 1個  
ケチャップ  
ウィンナー  
ベーコン  
しめじ  
チーズ(とろけるタイプ)

にしめじ・ウィンナー・ベーコンをのせ、最後にチーズをのせてフライパンに蓋をして、チーズが溶けたら完成。  
※他にもピザに合う食材をのせて、自分流にアレンジしてみてください。

①ごはんをボウルに入れ、そこに卵を割り入れ混ぜ合わせる。  
②フライパンに①をお好み焼きの生地のように広げて焼く。片面に焼き色が付いたら裏返して弱火にする。  
③焼き色が付いている面にケチャップを塗り、そこ

虹のバレンタイン駅前宣伝行動

2月5日(火) 14時~15時 ※2面に関連記事  
場所 山電姫路駅前広場(雨天時:JR姫路駅ビオレ前)

2月6日(水) 15時45分~16時45分  
場所 JR網干駅前(雨天決行)

オレンジカフェ花北

2月20日(水) 13時30分~15時  
場所 花北市民広場 第6会議室

原発なくせ駅前署名宣伝行動

3月11日(月) 14時~15時  
場所 山電姫路駅前広場(雨天時:JR姫路駅ビオレ前)

学習講演会「福島を忘れない」

〜福島の現状から学ぶ原発・憲法・沖縄〜

3月15日(金) 14時~16時 ※2面に関連記事  
場所 イーグレひめじ3階 あいめっせホール

サークルてくてく歴史散策 226

3月8日(金) 参加費 6000円  
美作市河会山野草の里・長福寺三重塔・柘原鉱山資料館・片山潜記念館・法然誕生した寺誕生寺を訪ねる(岡山)  
会員申込 2月12日まで葉書で姫路市宮上町1-59-2 野村千恵子宛 ☎090-8201-7688

行事案内

関心がある行事にぜひご参加ください！

お問合せ ☎079-285-3399 (組合員サービス部)



共立病院デイケア  
理学療法士  
**木村 直人さん**

共立病院デイケアに入職し2年半が経ちました。これまでリハビリ専門病院で経験を積んできましたが、病院の中心だけでは、患者様・利用者様の生活にどのようなリハビリが本当に有効なのが見えにくい部分がありました。デイケアでは退院後の生活に関して利用者様から直接お話を伺うことができ、ともに悩み、考え、方向性を一致させ

2月のテレホンサービス

月曜日 糖尿病による目の病気(網膜症)のはなし  
火曜日 スポーツで歯を失わないために  
水曜日 足のしびれ〜坐骨神経障害〜  
木曜日 大腸の病気と生活習慣  
金土日 子どものアトピー性皮膚炎と食事  
※11日(月)・祝は金土日のテーマを放送。  
兵庫県保険医協会 健康情報テレホンサービス  
☎0120-979-451

超高齢者社会に突入した今、多死時代を迎えようとしています。少し専門的な話ですが、厚生労働省は平成30年3月に「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイ

今、この瞬間を  
意欲的に生きぬくために  
準備しておきたいこと

居宅介護支援事業所統括責任者 杉岡 眞由美



「ドライ」改定版を発表しました。誰もが迎える最期、自分自身の死をどのように受け止めますか。そしてその時まで自分自身の人生をどのように過ごしていくのか。まさに自己決定を尊重し支えるための指針です。多くの高齢者の本音は住み慣れた自宅で最期まで過ごしたいと望んでおられます。しかしながら「家族に迷惑をかけたくないから病院や施設で」という言葉をよく耳にします。終末期の方に過度の点滴などを行い、苦痛につながるケースも珍しくなく、一方では、終末期であっても病院から退院して明るく笑顔があふれ、中には余命宣告されたことが間違いないかと思えるほど活気を取り戻し、家族との最期の時間を過ごされた方もいらっしゃる、私自身も多くの感動を経験させて頂きました。それは本人が真に望む「在宅」という環境で過ごされる満足感と喜びが活力として表れるので

はないでしょうか。最近、アドバンス・ケア・プランニングという終末期の向き合い方や人生会議(通称)の実践が進められています。ポイントは自立の究極と言える自己決定です。終末期以外でも自身の人生の価値観を伝える。例えばどこでこの様にして誰と過ごしたいのか。またそのこだわりは?など一番信頼できる人に伝えておきましょう。次に終末期に自分の意思を伝えられない場合が70%との報告もあり代理決定人を決めておくことも必要です。この時期は早すぎることはなく、しっかりと今を生きるために準備を進めていくことをお勧めします。

【お問合せ先】  
☎079-285-3545  
(担当:杉岡)

読者のたより

クロスワードに応募されている組合員さんに刺激を受けて初めての挑戦です。町内であった時に気軽に声をかけて下さり、また声をかけたり、「ひめじ」が繋がりを濃くしてくれています。しっかりとお届けしようと思えます。

(森 美幸さん(69)広畑区)

最近、物忘れが多くなってきたので頭の体操になるかと思って漢字熟語のしりとりを楽しんでいます。クロスワードも考えるのが好きですが、なかなか難しいです。

(岡本喜久江さん(88)城東町)

昨年10月末に姉が他界し、寂しい思いをしました。が、毎日病院へ行き、姉の笑顔が見られて悔いなき日々。感謝。健康について感じさせられた数ヶ月でした。健康って大事です。日



昨年孫が結婚しました。今年はお孫をとお楽しみにしています。

(中山ちなみさん 香寺町)

々を大切に過ごしたいものです。

(松下たかねさん(70)北条梅原町)

長い間続けていたボランティアも今年で卒業です。また、新しいことにチャレンジしようと、体と相談しながらアンテナを張っています。

(田辺美恵子さん(74)飾磨区)

当選しましたー本日「ひめじ」の商品が届きました。血圧チェックにてチャレンジしましたが、今も毎日測定しています。先日のあぼしブロックでの新春のつどいにも参加しました。

(大庭新一さん(78)大津茂支部)

ザ・クロスワード  
出題 ●モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10		
11	12	13	14		
15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26
27	28	29			

答	A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---	---

- 【問題】二重ワクの文字を、A〜Fの順に並べてできる言葉は、なにか?
- 【ヨコのカギ】
- ブリヂストン創業者の名字
  - 色気より
  - ウサギワマとも言う
  - 目は心の
  - エフ
- 【タテのカギ】
- 四十八文字
  - 桃太郎のおじいさんは山へ何をしに行った?
  - 淡路
  - 深流釣りの代表的な魚
  - 金足農業高校とか
  - 一度にたくさん降る雪
  - 成田山でのイベントなどが有名
  - 「ほたるの光」はスコットランド
  - 猫に小判、ブタに
  - 液晶画面上の笑顔など
  - ライトとセンター間
  - 時短レシピに不可欠
  - 「麒麟」の読み方は?
  - お酒の飲めない人
- 【英語ではフリー】

【応募方法】  
ハガキにクロスワードパズルの答えを記入してご応募下さい。抽選で正解の方10名に図書カードをお送りします。あなたの身近な出来事やニュースの感想などもお寄せください。その際、差し支えなければ、年齢をご記入くださるようお願いいたします。(読者のたよりコーナーに掲載させて頂くことがあります)

【応募先】  
〒670-0832  
姫路市双葉町10  
姫路医療生協編集部  
締め切りは2月28日です。

12月号の答えと当選者  
正解は  
「トシコンソバ」

今回は85通の応募でした。以下の10名の方に図書カードをお送りします。

綾部 明美さん(網干区)  
中田マサノさん(御国野町)  
頼末 君子さん(砥堀)  
三木 知子さん(北原)  
池本三千蔵さん(木場)  
瀧井 和子さん(大津区)  
金川 幸子さん(大津区)  
本多 妙子さん(網干区)  
井置 喜子さん(別所町)  
福尾 純子さん(網干区)

1948年に始まった「うたごえ運動」。合唱を主体としたサークル活動を基盤とする大衆的で民主的な音楽運動で、国民の声を歌にして広める活動を現在も続けています。今回は、その「うたごえ運動」に参加され、子ども達に和太鼓の指導もされてくる西本好道さんにお話を伺います。

### 「うたごえ運動」との出会い

中学生の時、音楽の先生から、「西本君はハーモニカが

上手なので、音楽部に入りませんか」と誘われたことが音楽活動の始まりでした。高校を卒業して就職。アコ



ーデイオンを弾く職場の先輩の影響で19歳の時に「うたごえ運動」と出会います。西播センター合唱団4期研究生を終了され、西播センター合唱団に入団。22歳の時に高砂市への移住を機に東播センター合唱団へ移籍し現在に至ります。東播センター合唱団は現

## 平和の祈りを

### うたごえに乗せて

高砂支部

西本

好道さん  
よしみち

在50代から70代の29名が在籍し、女性21名、男性8名で活動されています。西本さんは団長として美しい歌声でメンバーを引っ張る一方、「みんなうたごえ」のリーダーとしても活躍されています。

### 郷土芸能を伝えたい

郷土芸能を広めたいとの思いから和太鼓も習得され、東播センター合唱団民謡集団「あひんざ」と「あひんざ子ども太鼓」を創設。子どもたち



▲西本好道さん(右)。友人の稲田哲弥さんと



▲好道コンサートでは太鼓も披露

にいのちを大切に生きて、夢を持って前を向いて生きていくて欲しいと、「和太鼓生きる」を作詞作調。また、後進の指導にもあたっておられます。「子ども太鼓は小学校低学年から練習していますが、中学生になると部活や塾で忙しくなり、ほとんどの子どもが辞めてしまいます。体も成長し力が付いて良い音が叩き出せるようになってこれからのために、非常に残念ですね」と話す西本さん。

### 「うたごえ」は平和の力

西本さんはこれまで多くの曲を作詞・作曲されています。還暦を迎えた10年前からは毎年「好道コンサート」を開催し、創作曲を発表されています。また、核兵器廃絶の思いから国民平和大行進も30年以上続けられ、平和に関する署名も精力的に活動されています。「悲惨な戦争を二度と繰り返してはいけません。憲法が壊されようとしている今、うたごえは平和の力を合言葉に活動を続けています」と力強く語る西本さんの表情はとても印象的でした。今後とも元気で、うたごえと和太鼓で平和を訴え続けてください。(取材 常任理事 川井隆)



▲うたごえで平和への願いを伝える